

関綾乃 ニュース

Seki Ayano News

2022.08・夏号

情報
発信中!

facebook

Instagram



住んでよかった朝来市に ～住んでいる人にやさしいまちづくりを!～

ご挨拶

連日暑い日が続いておりますが、市民の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

6月の一般質問では、「防災について」、「コロナワクチンの副反応について」を取り上げました。朝来市でも過去に大きな災害が起こっています。防災、減災を進めるには普段からの準備が大変重要です。また、昨年5月から避難勧告が廃止され、避難指示に一本化されています。災害はいつ起こるか分かりません。市民のみなさまにおかれましても、命を守る行動を第一に、普段から災害に備えていただきますようお願いいたします。



一般質問について

本会議では議員が市長等に対して1対1で質問する50分間の一般質問の機会があります。関綾乃は6月14日に行われた一般質問に立たせていただきました。以下、質問と答弁の一部を掲載させていただきます。

6月定例会 ● 一般質問 (一部抜粋)

危機管理及び 災害への対応について

質問 関 本市は、過去に2度の爆破予告を受けました。その後、警戒や予防に努めておられますか。

答弁 市長 本庁舎における平時の防犯対策として、庁舎内の要所に防犯カメラ29台を設置し映像を確認して防犯に努めるほか、定期的な見回りを実施しています。

質問 関 任務に当たる職員、警察、消防の方々の危険が少しでも回避できるよう、何が何でも命を守っていただけるような対応を切に願います。

自然災害が発生した場合、朝来市ではどのような手段や方法で災害状況を把握していますか。

答弁 市長 災害情報の把握は各区長・防災委員・地域の方から連絡をいただいています。また、職員による市内の



市道に崩れ落ちた岩



神戸市立東灘小学校のヘリサイン

パトロール、危険箇所等の情報確認も行っています。

質問 関 被災状況をリアルタイムで把握できれば的確な避難誘導や支援して下さる関係機関にも正確な情報を伝え、かつその後の確かな災害復興へ踏み出す一歩にもなると考えます。人命救助、減災を一番に、また、情報収集に当たる職員の方々の危険を少しでも回避する方法を考えると災害時の被災情報収集にこそドローンは力を発揮するのではないかと考えます。

答弁 市長 地形が複雑な狭い箇所ではプロ的な操縦が求められます。ドローンについては専門に任す。職員はタブレットで本部と位置を調整するようなことになると思います。

質問 関 空からの支援を行っていただく場合、上空からでも識別できるヘリサインについて、どのように考えますか。

答弁 教育長 教育委員会として、ヘリサインの重要性は承知しております。

質問 関 災害対応に当たる全ての方々の命を危険から守り、かつ農業方面などでも的確な情報を入手するツールとしてドローンの利用を促進いただくことを期待します。



新型コロナワクチン接種とその副反応について

質問 関 国の主導で新型コロナワクチン接種は進められています。市での推進の根拠は。

答弁 市長 国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会においてワクチン接種による感染予防効果、発症予防効果、入院予防効果、重症化予防効果、死亡予防効果などの有効性やワクチン接種の安全性を海外の研究結果を根拠として、国の方針、指示により実施しているものです。

質問 関 接種はあくまで任意であり、強制されるものではありませんが、非接種者への無言の圧力、また疎外感を生む空気があります。接種をしないという選択をした人の権利が保障されておらず、真の意味での選択はできないと思います。この現状をどう考えますか。

答弁 市長 ご指摘のとおり、体質や持病、個人の信条など様々な理由により接種を受けられない方もおられます。市として、接種・非接種者を理由とした不利益な対応を許さないという姿勢をホームページ等で啓発するとともに、国・県の相談窓口も周知しています。

質問 関 現在、担当課では予防接種健康被害調査委員

会に3件の申出があり、1件について受理されたと伺っています。

調査委員会に申出があった他に副反応を含め、担当課はワクチン接種による健康異常、弊害の相談は受けていますか。また、受けた相談内容、副反応の症例について、市長は把握していますか。

答弁 市長 3件の副反応相談内容と、その他についても把握しています。

質問 関 朝来市内でも副反応が発生しているという事実も認識をいただきました。一方、不特定の方と接するお仕事の方などは、その心配から接種を希望する方がおられるというのも事実で、接種を完全に否定するものではないと思います。一番強調したいのは、ワクチン接種は万能ではなく、現在のコロナウイルスではワクチン接種をせずともコロナの感染だけで死亡に至るケースは既に非常に少ないとするデータが明示され始めていることや、これからはデータの出所を示し、接種後の副反応等についての症例をしっかりと情報提供することの責任が市民の命や健康を守る自治体にはあるのではないかとこのことを最後に述べます。



次世代のエネルギー資源“メタンハイドレート” ～日本海沖の天然資源の実用化に向けて～

日本海沖の海底には天然資源である“メタンハイドレート”という天然ガスの存在が確認されています。（“メタンハイドレート”とは、天然ガスの主成分でエネルギー資源であるメタンガスが水分子と結びつくことでできた氷状の物質。火を近づけると燃えるため、「燃える氷」とも呼ばれます）資源価格が高騰している今、日本が自前資源を持つことは非常に重要だと考えます。その研究の第一人者とも言える青山繁晴参議院議員に質問させていただきました。

質問 関 私の住む但馬は日本海が目の前です。少子高齢化、人口減少に悩むこの地域がメタンハイドレートを利用することによって豊かな地域経済を取り戻すために私達はどのように備えたらよいのかお尋ねします。

答弁 青山 兵庫県も協力してくれたが、自治体がやれることではないと言って落ち着いてしまった。こういうことは国でやるしかない。最初は色々難しくても主権者が声を上げることが大事。「兵庫県香住沖の自前資源を実用化してください」という沢山の声が届

いたら、政府の考え方を变える大きな力になる。日本海でメタンハイドレートが実用化されると、生野辺りは中継地点になります。市議会でも質問するのも非常に意味が大きいのでどんどん質問してください。

詳しくは
関綾乃youtubeで
ご覧ください



関綾乃

令和4年6月定例会

一般質問はこちら



3月、6月、9月、12月には本会議が開催されます。本会議は朝来市CATVでライブ放映や録画放映もありますが、市民のみならず是非、傍聴にお越しください。議場でお待ちしております。

